

令和4年度愛知県特定健診・保健指導研修会（事業運営編）

研修実施報告

1. 日程・内容等について

【目的及び趣旨】

特定健診・特定保健指導の企画運営、指導者のリーダー的立場にある者が、健康課題に基づいた効果的な事業計画（評価を含む）を立案でき、円滑に進めるためのマネジメント能力を身につける

【日時】

令和4年12月7日（水）午前10時30分から午後4時30分まで

【対象者】

愛知県内の医療保険者、医療機関、保健指導機関（市町村直営の場合、担当部署含む）、事業所等で、特定健診・特定保健指導の事業運営に携わっている職員のうち、(1)もしくは(2)に該当する者

- (1) 保健指導チームのリーダー的立場にある専門職
- (2) 特定保健指導事業の運営責任者（事務担当者等）

【方法】

web 会議システム（Zoom）を利用したライブ配信型研修とする。

【カリキュラム】

計 360 分

時間	内容	ねらい	リーダー	運営責任者
研修会前 (45分)	研修課題 現在の保健指導の取り組みや課題の事前まとめ (ワークシート2の該当部分) ※1	特定保健指導事業における現在の取り組みや、データヘルス計画や過去の事業評価をもとに、課題を把握し整理する。	◎	◎
10:00	受付			
10:30	オリエンテーション			
10:40 (70分 + ワーク10 分)	講義 「特定健診・特定保健指導の効果的な事業運営と評価に向けて」 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 保健事業部保健看護管理室 室長 中西 湖雪様 (第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会 効率的・効果的な実施方法等に関するワーキング・グループ構成員)	特定健診・特定保健指導を効果的に実施するために、基本的な考え方や意義を理解する。また、PDCAサイクルに沿った事業運営・評価と、保健指導の質の向上・管理について学ぶ。	◎	◎
12:00	昼休憩 (60分)			
13:00 (25分 + ワーク5分)	事例紹介 「県内市町村における特定健診・保健指導の取組の現状 令和4年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況調査より」 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課 小西 めぐみ様	令和4年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況調査からみえる、県内市町村の取り組みや評価などについて知る。		
13:30 (25分 + ワーク5分)	事例紹介 (健康保険組合) 「コロナヘルス等による健康づくりの取り組みについて ～特定健診・特定保健指導実施率向上を目指して～」 中部電力健康保険組合 事務長 川崎 雅人様	健康保険組合、保健指導機関のそれぞれの立場における特定保健指導実施率向上のための取り組みを知る。 他機関との連携、ツールの活用等について学び、今後の体制づくりに役立てる。	○	◎
14:00 (25分 + ワーク5分)	事例紹介 (保健指導機関) 「保健指導機関における特定健診・保健指導の取り組み」 公立西知多総合病院 看護支援部 (健診センター) 保健師 宮川 敬子様			
14:30	休憩 (10分)			
14:40 (70分)	課題解決型演習	講義、事例紹介から得たヒントをもとに、保健事業対策を検討する。	◎	◎
15:50 (90分)	発表・研修会のまとめ	全体で意見を共有し、自機関での保健事業に役立てる。	◎	◎
16:20	アンケート記入、事務連絡			
16:30	終了			
研修会后 (45分)	演習まとめ 本研修会をうけて課題、取り組み、改善策についてまとめる (ワークシート各種) ※2	各講義や事例紹介、グループディスカッションにて共有した情報をもとに、特定保健指導事業の評価をし、次年度に向けた改善策を考える。	◎	◎

本年度は「健康課題に基づいた保健事業を運営するための評価・改善策について考える」をテーマに4人の講師に講義や事例紹介をしていただきました。また、課題解決型演習を行いました。

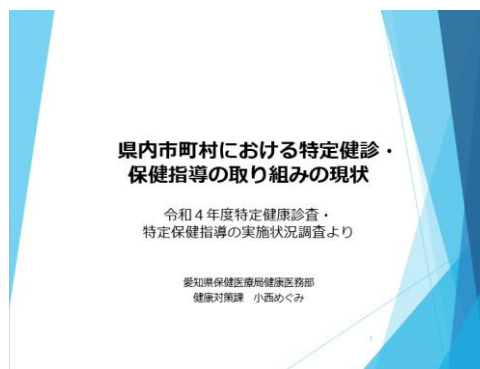
「特定健診・特定保健指導の効果的な事業運営と評価に向けて」

社会福祉法人聖隷福祉事業団保健事業部保健看護管理室室長 中西様より、特定健診・特定保健指導制度の基本的な考え方及び第4期計画の見直しの概要と、PDCAサイクルに沿った事業運営・評価と保健指導の質の向上・管理について、ご講義いただきました。保健指導の深化と進化を目指し、個人のスキルアップと、組織全体における品質管理の仕組みづくりの重要性について学びました。



「県内市町村における特定健診・保健指導の取り組みの現状 令和4年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況調査より」

愛知県保健医療局健康医務部健康対策課 技師 小西様より、令和4年度に実施した、特定健康診査・特定保健指導の実施状況調査結果について、動画にて事例紹介いただきました。県内市町村における実施方法や実施体制、実施状況と合わせて、受診率や保健指導実施率向上のための具体的な取り組みについても、ご紹介いただきました。



「コラボヘルス等による健康づくりの取り組みについて ～特定健診・特定保健指導実施率向上を目指して～」

中部電力健康保険組合 事務長 川崎様より、保険者と事業者が積極的に連携し、明確な役割分担と良好な職場環境のもと、加入者の予防・健康づくりを効率的・効果的に実施する「コラボヘルス」の視点から、事例紹介いただきました。受診率や実施率向上の取り組みだけでなく、服薬者への保健指導や若年層への生活習慣改善指導の取り組みについても、ご紹介いただきました。



「保健指導機関における特定健診・保健指導の取り組み」

公立西知多総合病院看護支援部（健診センター） 保健師 宮川様より、特定保健指導の実施率向上・中断者の防止の工夫、医療保険者との連携方法などについて事例紹介いただきました。特定健診項目だけではなく、がん検診受診後の二次検診でのフォローアップを含め、受診者（患者）の健康回復・維持増進の取り組みについてもご紹介いただきました。



課題解決型演習「研修でのヒントを活かして、効果的な事業を検討する」

1 グループ4~8人、計8グループに分かれてグループディスカッションをしました。グループは参加者の立場ごと、市町村（医療機関、保健指導機関含む）、企業、医療保険者に分けました。それぞれのグループで、特定保健指導事業における現在の課題を抽出し、その中から深堀りしたい課題について、改善させるための工夫や効果的な指導教材・ツール、事業評価のための指標について話し合いました。60分のグループディスカッション後、各グループで話し合った内容を全体で共有し、立場によって視点や活用できる資源が違うことを改めて認識しました。

各グループで課題解決に向け、話し合う

話し合った内容を全体で共有

グループディスカッションシート ※このシートは、個人のメモ用紙です

<p><特定保健指導事業における現在の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳代の健診受診率が低い ・被扶養者の健診受診率が低い ・集団の健診会場の確保が難しい ・健診当日に特定保健指導初回面談できるようにしたいがやり方わからない ・対象者の年代に合わせて、保健指導を受けたいようになるような動機をしたい <p>ディスカッションする課題をグループで1つ選び、このシートに課題の項目について記入してください</p>	<p><課題を改善させるための工夫></p> <p>これを解決するために、どんな工夫ができるか？</p>
<p><効果的な指導教材・ツール></p> <p>対象者の理解ややる気を促すために、どんなツールがあるか？ 教材があるか？</p>	<p><事業評価のための指標></p> <p>効果をどうやって評価するか どのような評価指標が必要か</p>

令和4年度 愛知県特定健診・保健指導研究会（事業推進部）



(配信会場の様子)

研修会前後では、下記ワークシートを用いて、研修会に参加していただきました。

ワークシート1（左）は、各講義受講後、気づいたことや今後取り入れたいことを記入し、グループディスカッションで活用しました。ワークシート2（右）は、研修受講前に「特定健診・特定保健指導事業における現状や課題、取り組み、成果等」「自己チェックリスト（習得スキル）」を記入しました。

ワークシート1（講義・事例紹介・演習まとめ）

所属（ ）	氏名（ ）	記入日（ ）	記入内容（ ）
1			
2			
3			
4			
5			

各講義を聴講し
課題や解決策を
記入する

本研修会を要請された方（途中退席者含む）は、12月16日（金）までに提出ください。

ワークシート2（研修課題）

所属（ ） 氏名（ ）

研修受講前に「ワークシート2」の記入をお願いします。

1.【研修課題】特定健診・保健指導事業における現状や課題、取り組み、成果等
研修当日の研修会に活用させていただきます。事前に学習の進捗状況を、全員に記入ください。
（研修会当日出席者等、研修会後の独立学習で把握できる状況で記入してください。ご記入ください）
<現状>

研修参加前に
事業の課題を記入する

2.自己チェックリスト
現在の研修会の研修会終了後（日）研修目的、②～④（到達目標）について、「習得状況」のうち、最も得意なものを記入してください。①～④のうち、2項目以上を、3項目以上を、4項目以上を記入してください。

研修参加前に
習得スキルをチェックする

本研修会を要請された方（途中退席者含む）は、12月16日（金）までに提出ください。

2. 申込について

【申込者数】 68 人（男：13 人、女：55 人）

【所属別（人）】

市町村	企業	健康保険組合	共済組合	医療機関	保健指導機関	その他
30	13	17	1	2	1	4

【職種別（人）】

保健師	管理栄養士	事務職	管理者・役員
37	12	13	6

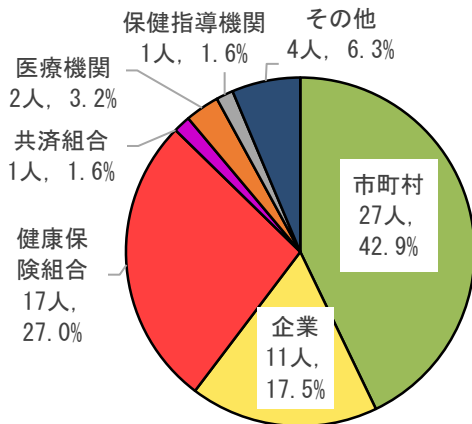
【経験年数別※（人）】 ※保健指導の計画・評価に関する経験

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10年以上	未回答
37	7	10	8	5	1

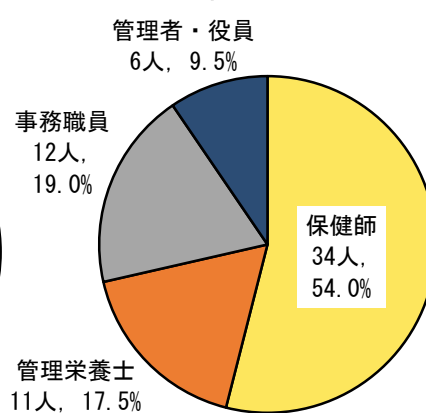
3. アンケート結果について

【回収状況】 参加者 67 名のうち、63 名から回収（回収率 94.0%）

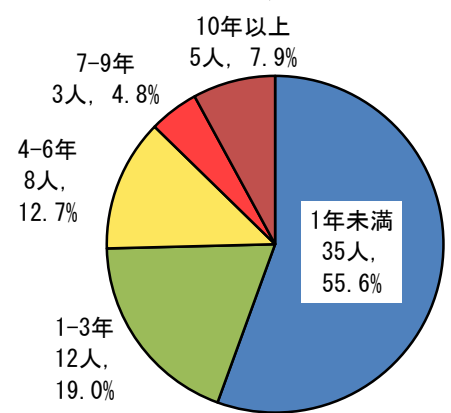
(1) 回答者の所属



(2) 職種

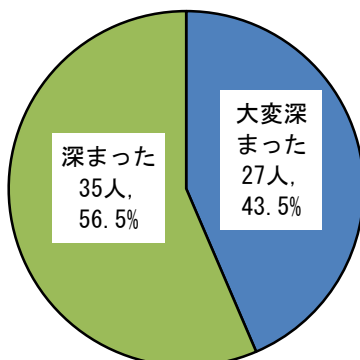


(3) 経験年数

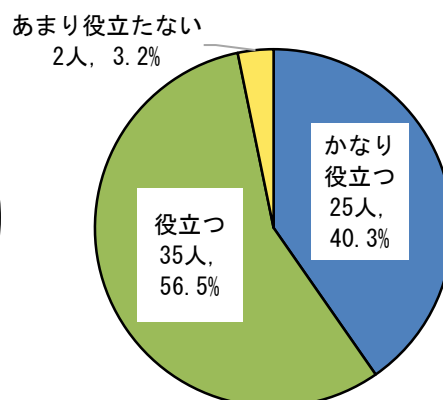


【質問項目のまとめ】

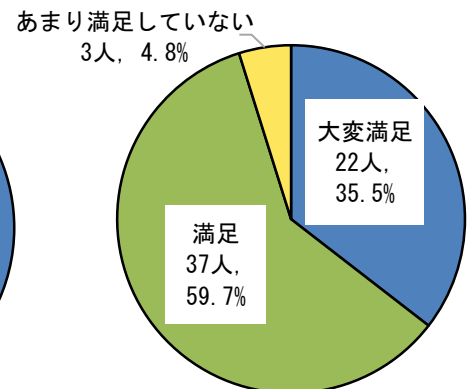
(1) 知識の深まり



(2) 役立ち度



(3) 満足度



(4) 受講者の感想（自由記載から一部抜粋）

<研修全体について>

- ・ 演習では共通の課題について話し合うことができました。ほかの事業所の持っている経験や知識が、勉強になり活用してみたいと思いました。
- ・ 特定保健指導、第4期の目的や評価などの情報が聞けて良かったです。保健指導の目的も再確認しました。近隣の市町村担当者の方たちと、意見交換ができたのはとても有意義でした。
- ・ 今年初めて特定健診・保健指導に携わりましたが、委託業者さんに指導は任せていたため、指導側の方々の悩み、ご苦労が存在することに気づかされました。今後は委託業者・指導側の方々への関わり方を意識して改善して行きたいと考えた次第です。
- ・ コロナの影響やマンネリ化しつつある現状の実施方法など、今後の対策を検討する上で、とても参考になりました。
- ・ 講師の「ポイントをとる保健指導になっていませんか？」というメッセージが響きました。相手の心に伝わる指導をしたいと思いました。

<web研修に参加して>

- ・ 移動時間がなく参加できるメリットは大きいです。
- ・ 講義の一部が音声のトラブルでよく聞こえなかったため、後日配信があると嬉しいです。
- ・ web研修のメリットは感じるが、対面での研修で他事業所の方々と交流を深めたい気持ちもあります。

<次回研修会の要望>

- ・ 委託先評価方法、有効なアプリの紹介など
- ・ データの分析方法や分析の視点、データや健康課題の見せ方の具体例
- ・ 社内での特定保健指導の導入に向けての準備や仕組みづくりの進め方
- ・ 被扶養者を対象とした受診率や実施率向上の対策

4. 修了状況について

参加者67人のうち、全プログラムを受講し、ワークシートの提出、アンケートの回答を確認できた者51人（76.1%）に、本研修会の修了証を交付予定です。